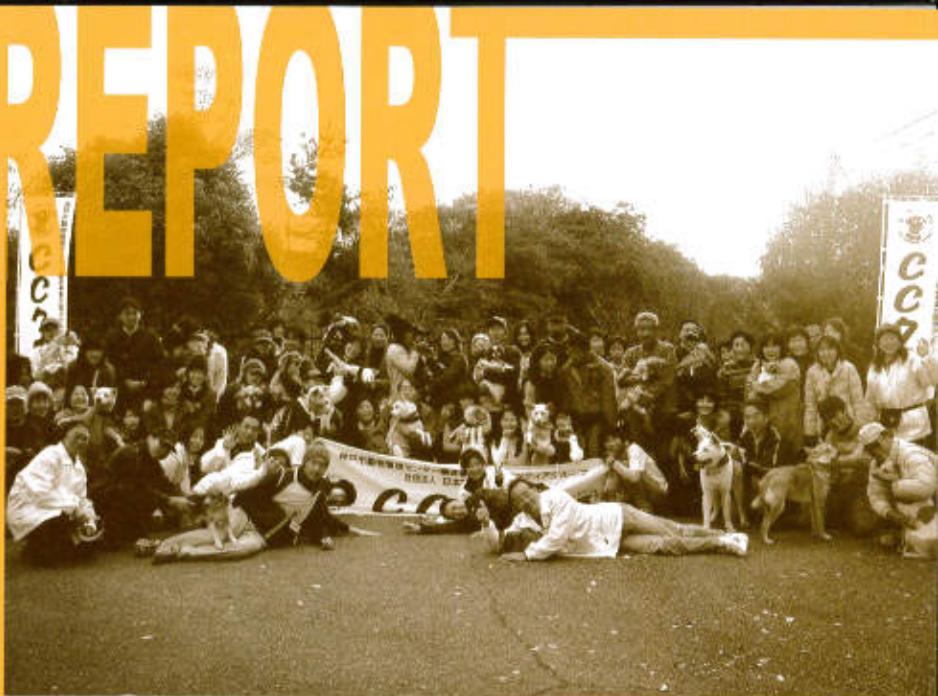


ANNUAL REPORT



年次報告書

平成 20 年度 2008.4.1-2009.3.31

～すべての生きものに尊厳を～
アルバート・シュヴァイツァー



社団法人
日本動物福祉協会
Japan Animal Welfare Society

| | |
|-------------------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| I 動物福祉活動 | 2 |
| □動物虐待防止 | |
| 犬・猫の不妊・去勢手術の推進 | |
| □ペット動物の購入問題 | |
| □動物との共生を考える連絡会 | |
| □譲渡事業 | |
| □環境省 中央環境審議会 動物愛護部会 | |
| □農林水産省 検討会 | |
| □各自治体における協議会・委員会 | |
| □緊急災害時動物救援本部 | |
| □動物 LD 普及推進会議 (A L P O) | |
| II 広報・啓発活動 | 6 |
| □第 49 回動物愛護の作文コンテスト | |
| □動物愛護週間中央行事 | |
| □JAWS レポート | |
| 講演・研修・取材など | |
| □パネル展 | |
| □電話等による相談 | |
| III 募金活動 | 8 |
| □常陸宮妃美子殿下のご翻訳絵本 | |
| □各種オリジナルグッズの販売等による募金 | |
| □寄付金 | |
| IV 会員募集活動 | 9 |
| V 事務局関係 | 9 |
| □定期会員総会 | 9 |
| □評議委員会 | 9 |
| VI 各支部の活動報告 | 10 |
| ■北海道支部 | 10 |
| ■栃木支部 | 11 |
| ■新東京支部 | 12 |
| ■横浜支部 | 13 |
| ■相模支部 | 14 |
| ■南大阪支部 | 15 |
| ■阪神支部 | 15 |
| ■徳島支部 | 16 |
| ■三重連絡所 | 16 |
| VII 財務状況 | 17 |

●表紙写真 神戸市動物管理センター譲渡支援グループ CC クロ
(右)譲渡犬同窓会 (左)しつけ教室

動物を虐待から守り、あらゆる「いのち」にやさしい社会を築いていくために。

□ 動物救護基金 動物の保護・救助・新しい飼い主探しに対するご支援

□ 不妊・去勢手術助成基金 不妊・去勢手術に対するご支援

□ 一般基金 その他、協会の全般的な活動に対するご支援

| | | |
|----------|----------|-------------------|
| 終身会員(L) | 140,000円 | 1回限り、正会員2名の推薦を要する |
| 法人会員(CJ) | 50,000円 | 《1口》(牛頭・1口以上) |
| 維持会員(S) | 7,000円 | 年額・正会員2名の推薦を要する |
| 賛助会員(A) | 3,000円 | 年額 |
| 青少年会員(J) | 1,000円 | 年額・20歳未満 |

●お振込先: 郵便振替
口座番号: 00130-6-20714
加入者名: 社団法人 日本動物福祉協会

名誉総裁

常陸宮妃華子殿下

役員

理事長 山下 真一郎
副理事長 斎藤 謙
理事 安田 幸子
理事 加藤 笑子(経理委員)
理事 兵藤 哲夫
理事 麻生 泰
理事 伊藤 美子
理事 佐野 登(総務委員)
理事 服部 真二
理事 井上 多賀子
理事 清水 道彦
監事 高島信之
監事 児玉惟継

海外委員

英國日本動物福祉協会
理事長 T.Crittenden

事務局

事務局長 桜井 邦広
事務局次長 川崎 敏
獣医師・調査員 山口 千津子
獣医師・調査員 菅野 多恵
調査員 大竹 里美
事務員 高村 裕子
事務員 小犬丸千寿美
CCクロスタッフ 北村 美代子
CCクロスタッフ 深谷 美香

社団法人日本動物福祉協会 (2009年6月現在)

ごあいさつ

理事長 山下 真一郎

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

創立以来半世紀を越えた当協会にとって、平成20年度は新たな展望に向けての一歩を踏み出す年でもありました。世相が混迷し、厳しい経済情勢が続く中、私共が着実な活動成果を挙げられましたのも、ひとえに会員並びにご支援くださる皆様の変わらぬお力添えのお蔭であり、心から御礼申し上げます。

また、JAWS 英国委員会並びにパッカーズ・ファンデーションの当協会の活動に対する深い理解と力強いご支援に改めて深く感謝申し上げたいと思います。

ここで、1966年以来42年間の長きに亘り、当協会の役員として、日本の動物福祉事業の発展に大きな足跡を残された相馬雪香先生が、昨年11月8日に永眠されましたことをお伝え致します。JAWS の動物福祉事業のみならず、難民を助ける会など12の団体の中心的存在として、96歳まで陣頭に立ってご活躍された故人のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。私共は今後も相馬先生の目指されたものを目標に、その志を継いで更なる努力の日々を重ねて参る所存です。

さて、平成17年6月に成立した改正「動物の愛護及び管理に関する法律」とその基準も施行以来3年が経過致しました。20年度は国際的な動物福祉の基本概念「5つの自由」を踏まえつつ同法の現場での効果的な実践に向けて、自治体の条例や基本方針策定に協力し、収容施設を官民協調のシェルター化する取り組みも神戸などで大きく推進致しました。

また2年後に予定される現行法の見直しに向けて、動物との共生を考える連絡会としてシンポジウムを開催し、見直し草案を提示するなどの活動を展開致しました。

今年に入ってからは、世界最古の動物福祉団体、英國RSPCAから2名の講師を招き、動物査察の実践的な研修会を日本で初めて実施し、全国から動物愛護担当職員を中心とする皆様のご参加を得て、充実した有意義なセミナーとして高い評価を頂きました。

平成21年度はこうした実践的な活動を更に広げ、眞に人と動物が共に幸せに暮らせる社会の実現に向け、更なる一步を踏み出す覚悟であります。

また、私共の活動に対する社会一般の理解を深め、理念の浸透を図るためにも活動状況を広くお知らせし、情報を発信し続けることが必要と考えております。

これ等の課題に取り組んでいくに当たり、皆様の変わらぬご支援に改めて感謝申し上げ、平成20年度の活動成果をご報告申し上げます。

皆様のご健勝を謹んでお祈り致します。

法律・基準の適用はどうなっている？

動物虐待防止

今年度は改正動物愛護管理法の周知徹底に努力すると共に、新たに施行5年後の見直しに向けて、現状における現行法の不足・施行不十分点及び次改正案の検討を開始いたしました。当協会への動物取扱業及び一般家庭における劣悪飼育の通報は相変わらず多く、視察現場に立つ度に、現行法で求められている飼い主責任も法律の下に定められている基準も行き渡っていないことを痛感させられた一年でした。

特に、動物取扱業に関しては、その定義も自治体によって判断が異なり、また、動物の愛護及び管理に関する施行規則・動物取扱業者が遵守すべき動物の管理方法等の細目があるにもかかわらずそれらが遵守されていないことに対する対応に歯輒りするケースが日立ちました。全国で行われているイベント等における動物の移動販売においても、適切な施設も環境も整わないところで、群衆に取り囲まれ多大なストレスがかかっている動物を、お祭り気分で「かわいい」と感情に流されている来場者をあおって売りつけているのですから、動物にとっては現在も未来も最悪です。



移動販売で売られている犬。
ケージの中にはお水も敷物もなく、不安定なワイヤーのすのこの上に立っている。

そして、もう一つイベントに付き物のが、「ふれあいコーナー」という名の動物にとってはストレスの上ない催します。当協会が視察したイベントにおいても、汚れたサークルで囲った不衛生な環境の中にウサギやモルモット・ひよこ・鳩それにヤギ・羊が放され、たくさんの来場者に好きに触らせていました。触られるのを避ける場所もありませんので、動物は苦しいのじっと我慢するしかないです。動物から見れば「ふれあい」ではなく「虐待コーナー」に他なりません。動物によっては生命に関わることもあります。一般飼い主や学校においても、法律に書かれている飼い主責任が条例や家庭動物等の飼養及び保管に関する基準の周知率は低く、通報による視察においてはその周知徹底と適用に力を入れながら改善アドバイスをいたしました。



不衛生な囲いの中に動物が入れられている
「ふれあいコーナー」

I 動物福祉活動

平成19年度全国統計

| | 引取頭数 | | 処分数 | |
|---|---------|---------|--------|---------|
| | 成熟個体 | 幼令個体 | 返還・譲渡 | 殺処分 |
| 犬 | 105,195 | 24,742 | 29,942 | 98,556 |
| 猫 | 54,735 | 151,677 | 6,179 | 200,760 |

※(引取数の成熟個体には、狂犬病予防法に基づく抑留が含まれる。)
(成熟個体と幼令個体を区別していない自治体にあっては、成熟個体に計上している。)

毎年4月と5月に神社への奉納という形で開催される上げ馬神事。動物との共生を考える連絡会として、自治体の職員と共に動物虐待がないか監視しているのですが、壁越えの成功率を上げようと出走直前の馬を興奮させるためにパイプやロープで殴ったり蹴ったりと、私たちから見れば明らかに動物虐待という行為が見られ、周りが止めても続けられていました。これでは興奮した馬による事故が起こっても不思議ではなく、今年度は、馬が逆走して5人の重軽傷者が出来ました。馬への心身の苦痛・虐待のない神事にすれば、事故からも解放されると思われます。



のど元に咬みつかれ、押さえ込まれている（闘犬）

同月、同自治体で同じく神社への奉納という形式で土佐犬による闘犬が行われていました。人間の娛樂目的で、攻撃性を引き出すよう繁殖され、訓練され、闘う事を強いられる闘犬。会場では、狭い上位に入れられ、飼い主にけしかけられながら闘わされ、傷つき、現場待機している獣医師に裂けた皮膚を縫合してもらっている犬も。現在の日本では4都県のみ条例で禁止されている闘犬。東京都では昭和23年7月に条例で「犬・鶏・牛その他の動物を互いに闘わせてはならない」としています。この最たる動物虐待といえる闘犬の法律による全国一律禁止に向かってあきらめずに努力したいと思います。

マスコミが取り上げる動物の殺傷事件も減少する兆しを見せ、人間の精神の荒廃の犠牲になる動物が後を絶ちません。警察による迅速な捜査、命をもてあそぶものへのさらに厳しい罰則の適用を望みます。

来年度は、早期介入・早期改善指導によって動物虐待を未然に防止し、動物福祉を推進する社会システムの確立を目指した法律の見直しに向かって、他団体とともにその活動を加速していくつもりです。

犬・猫の不妊・去勢手術の推進

今年度の「捨て犬・捨て猫防止キャンペーン」は対象地域を2地域から3地域に拡大し、福島県・京都府・奈良県にて実施いたしました。福島県・京都府・京都市・奈良県の各獣医師会のご後援の下、メス1頭1万円、オス1頭5千円の手術費用一部負担は、各地域ともそれぞれメス200頭、オス100頭に限り募集いたしました。各地域の動物病院や各関係自治体にポスター掲示のご協力を頂くと共に、各地域の新聞にも記事として取り上げて頂いた結果、沢山のご応募がありました。当選された方までに不妊・去勢手術を実施した方へは、3月末までに助成金をお支払しています。

| | 手術実施頭数 | | | |
|-------|--------|----|------|-----|
| | 犬(頭) | | 猫(頭) | |
| | メス | オス | メス | オス |
| 福島県 | 37 | 17 | 193 | 67 |
| 京都府 | 32 | 11 | 100 | 52 |
| 奈良県 | 34 | 19 | 193 | 38 |
| 合計(頭) | 103 | 47 | 486 | 157 |

各支部を通して、不妊・去勢手術の助成金を出し、不幸な犬・猫を減らすべく、その根本策でもある手術の普及に努めました。各支部助成頭数の合計は、メス2,100頭、オス1,171頭（犬143頭、猫3,128頭）でした。

本・支部合計助成頭数は、メス2,689頭、オス1,375頭（犬293頭、猫3,771頭）でした。

ペット動物の購入問題

平成20年度に当協会に寄せられたペット動物の購入に関する相談は、ほとんどが犬・猫に関するもので、件数は若干ながら前年度に比べて減少いたしました。「国民生活センター消費生活相談データベース」のペットに関する統計を見ても、2008年度の相談件数は前年度に比べ若干の減少を示しているようですが、この減少傾向を単に動物がより良い状態で販売される傾向になっていると考えるのは非常に危険です。実際、当協会に寄せられる相談内容の7割以上は動物の健康に関する問題で、先天性疾患や販売元すでに罹患していたと思われる伝染病が購入後発症したなどの相談であることを考えると、1本の通報の後に同じような環境やバックグラウンドをもっているペット動物が何倍も存在することを予測するからです。

全国各地に存在する多数の繁殖業者から毎日送り出される30日齢程度の子犬・



子猫のうち、一体何割が身心共健康で1歳の誕生日を迎えるのでしょうか。そのようなことはデータすらないのも現実です。

本年度の統計の中での特徴的傾向として、購入先決定方法や決定理由にインターネットと答えた方が43.7%で1位になりました。昨年度の統計では19%であったことを考えると、ペット購入の際にインターネットを何らかの理由で活用する人は今後益々増えるでしょう。動物への負担が大きく、売買トラブルも多いネット販売や移動販売に対しては、法律による禁止に向かって「ストップ！ペットのネット販売・移動販売キャンペーン」を継続実施しています。

動物との共生を考える連絡会

幹事団として改正動物愛護管理法の徹底普及と適用推進に努力すると共に、平成23年の見直しに向けて、連絡会としての見直し案を作成しました。6月29日の総会で承認され、同日開催しましたシンポジウムで公表・説明いたしました。三重県猪名部神社・多度大社における上げ馬神事の監視も継続しておりますが、馬の扱いが昨年よりもさらに悪くなっているように思え、重軽傷者5名という興奮した馬による大きな事故も起こりました。

連絡会の見直し案にも含まれておりますが、産業動物の福祉の確保は最重要事項の一つであり、法改正のための情報収集、シンポジウムにおけるコメント等にも積極的に対応いたしました。現行動物愛護管理法の適用推進について警察庁に5項目（1、インターネット上の動物虐待等の画像に対する規制 2、動物愛護管理法の警察官への周知徹底 3、動物虐待事例の通報や告発を受理し検査すること 4、自治体職員の立ち入り調査に同行 5、その他、上げ馬神事や闘犬の規制等）の申し入れをいたしました。

今年度の啓発セミナーは、動物園における動物の飼育についてズーチェックカナダのロバート・レイドロー氏に講演していただきました。講演の中で紹介された「5つのS(Space 空間・Substrate 地面の素材・Stimulation 刺激・Shelter 住居／隠れ家・Social Context 社会的環境）」を使っての動物園の評価方法はぜひ日本でも広めたいものです。

◎新しい飼い主さがし

本年度も本部・支部ともに、動物たちの新しい飼い主さんとの出会いのお手伝いをさせていただきました。本部からは、犬13頭・猫3頭・ウサギ1頭、本部CCクロから犬62頭、支部からは合計犬187頭・猫653頭・ウサギ、モルモット、ハムスター、小鳥などの小動物4頭、総数で犬262頭、猫656頭、小動物5頭もの動物たちが新しい家庭に迎えられました。



♥シーザーのアイちゃんはお散歩が大好きな男の子です。新しい飼い主さんは、14歳で眼疾患があるアイちゃんを新しい家族に迎えてくださいました。家には先住猫がいて、最初は猫に怯えていたようですが、現在はすっかり仲良しです。1日2時間お散歩に行き、毎日息切れするまで元気いっぱい走り回り、寝る時は飼い主さんの布団の中に入って枕を並べて大いびきで眠るそうです。



▽4歳のモモタちゃんは、人が大好きでとても元気な男の子です。初めて新しいお家に行った時も、環境の変化に戸惑う様子もなくボールのおもちゃで夢中で遊んでいました。今まで屋外で生活をしていたので、室内でご家族と一緒にいられる時間が増えたということは、人が大好きなモモタちゃんにとってとても幸せなことでしょう。少々元気すぎる面もあるようですが、ご家族のご理解とご協力のおかげで、とても愛されながら日々を送っています。



♥この若いオスのジャックラッセルテリアは、事情で犬との時間がほとんど取れないという家庭からの依頼で飼い主さん探しのお手伝いをしました。とにかく元気いっぱいのこの犬にとって、毎日思いっきり運動をし、人と触れ合う事は、とても高いニーズです。新しい飼い主さんは、小さい時から近所のたくさんの犬の面倒を見ていて、犬とのコミュニケーションがとても上手です。日頃のお散歩の他、週末は公園に出向き、元気に生き生き過ごしているようです。



▽このチワワとパビヨンのミックス犬は、とてもジャンプが得意な元気いっぱいの男の子です。もとの飼い主さんの事情で、一時期さびしい生活をしていましたが、今は家

族の中心になっているほど、かわいがってもらっています。おもちゃ遊びが大好きですが、今一番のお気に入りはお父さんの靴下です。ミックス犬ならではの表情と愛嬌で、近所でも人気者です。



♥このオスのマルチーズは、もとの飼い主さんの事情によりJAWSが保護しました。不安な気持ちをもっていたのか、少しだけ気難しい面があることを心配しましたが、今まで何頭ものマルチーズ飼育経験を持つ、新しい飼い主さんに会う事が出来ました。飼い主さんはいつも犬に話かけてくださり、出来る限り一緒に時間を過ごして下さっています。今ではすっかり表情も和らぎ、元気に過ごしています。



▽このオスのMダックスは、雨の日も雪の日も外につないだまま面倒を見る事ができなった飼い主さんを説得し、JAWSで保護しました。年齢も詳しいバックグラウンドもわからぬ状態でしたが、新しい飼い主さんは、温かく迎えて下さいました。新しい名前を付けて頂き、彼の人生が再スタートしました。お家の中での生活は、ハブニングも起こっていますが、飼い主さんが犬に良いように工夫をしてくれています。



♥このきれいな三毛猫は、まだ体重が400g位の時にJAWSスタッフが保護した猫です。手にひらに乗るほどの小さな仔猫は、やさしい飼い主さんに迎えて頂き、もうすぐ1歳になります。先輩先住猫さんを目の前に、しつかり者ぶりを發揮しているそうですが、寝るときはみんなと一緒に飼い主さんの布団にも繰り込む、甘えん坊な面もあるようです。

◎(社)日本動物福祉協会CCクロ(神戸市動物管理センター譲渡支援グループ)

神戸市動物管理センターでの譲渡事業支援活動は、スタッフ2名と約40名の登録ボランティアの方々と共に365日無休でおこなっています。「犬にも人も社会にも幸せな譲渡」を目指に、スタッフ、ボランティア同士や、神戸市の職員の方々、新しく犬を迎えてくださったご家族の方々との絆を大切にしてきました。

○同窓会の開催

秋にはCCクロ活動始まって以来初の試み、譲渡犬同窓会を開催することが出来、かつての譲渡犬たちに「お里帰り」してもらいました。日常的にセンターを訪れてくださるご家庭も多いのですが、同窓会の場で一堂に会することで、飼い主さん同士の交流も深まり、今後も神戸市と協働で開催していくというきっかけとなりました。

○譲渡対象決定基準改正

譲渡事業においては、神戸市とCCクロとで「譲渡対象決定基準改正検討会」での討議を重ね、これまで「神戸市在住者」に限られていた譲渡対象者を、「兵庫県内在住者」に改め、譲渡対象の幅を広げることができました。譲渡希望者の全家庭の事前訪問調査は神戸市内は神戸市職員、神戸市外は動物愛護推進員であるCCクロボランティア、スタッフが分担し、事後追跡調査の方も同時進行で進めているところです。



○表彰されました！

特筆すべきは、「市民福祉顕彰奨励賞」という賞を神戸市から頂戴し、表彰していただけたことです。CCクロの地道な活動が、官民協働事業として市民の福祉活動に貢献しているとの評価をいただき、いただいた表彰状はセンターを訪れる方に見ていただけるよう、玄関の一番目立つところに飾っています。

○不妊去勢手術実施頭数と譲渡実績

2008年度の不妊去勢手術実施頭数は、オス18頭、メス25頭の計43頭、新しい飼い主のもとに迎えられた犬は、子犬19頭、成犬43頭でした。



★チロ(ミックス/メス)

生後1ヶ月半齢で兄妹犬とともにセンターに保護されました。スタッフ、ボランティアは子犬の社会化には配慮しているつもりでしたが、怖がりな性格で初めて会う人を警戒していました。新しいご家族との生活にもゆっくりなじんでいました。小さな子どもにも優しく、ご家族は安心されているとのこと！

新しい
飼い主のもとへ

★レオ(ミニチュア・ダックスフンド/オス)
センターに保護された当初は一日中吠えていましたが、新しいご家庭に迎えていただいた途端、ピタッと吠えなくなり、人にも犬にもフレンドリーで飼い主さんを困らせることがないそうです。地域の動物愛護フェスティバルにも参加され、センターから犬を迎えて幸せになれたことをアピールしてくださいました。



★まり(柴系ミックス/メス)
一度出戻って来ましたが、新たに良いご家庭に迎えていただきました。

環境省中央環境審議会動物愛護部会

今年度はペットフード安全法（愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律）案の作成及び動物愛護管理基本指針の点検に関して審議がなされ、当協会兵藤理事が委員として参画し、意見を述べました。

農林水産省アニマルウエルフェアに対応した家畜の飼養管理に関する検討会

平成19年度から始まりましたこの検討会ですが、今年度は昨年度から行われていました採卵鶏及び豚の科学的知見収集分析報告と飼養実態アンケート調査結果に基づいて採卵鶏及び豚の飼養管理指針を策定いたしました。また、2年計画の初年度としてブロイラー及び乳用牛の飼養管理指針策定のための科学的知見収集分析とアンケート調査を開始しました。当協会兵藤理事は検討会委員として参画し、意見を述べました。

各自治体における協議会・委員会

当協会理事・本部職員・支部メンバーは、それぞれ地元及び他の自治体の協議会・委員会の委員として会議に参画し、動物福祉の向上を目指して意見を述べ、動物愛護管理推進計画の作成・実施に努力いたしました。

作文コンテスト、イベント等

○ 第49回 動物愛護の作文コンテスト

次代を担う青少年に「いのちを大切にする心」を育む作文コンテストも49回を迎え、小・中学生約800人の応募がありました。

慎重な審査の結果、環境大臣賞並びに当協会1等賞には林正基君(徳島市立大松小6年)の「迷子犬ボメラニアン～ボリーもどってこられてよかったですね～」と、鈴木美紅さん(宇都宮短大附属中3年)の「地球の住人」が選ばされました。他にも特別賞の「ヒルズのサイエンス・ダイエット賞」や「昭和会館賞」などを含め、全部で26名が受賞致しました。

11月22日(土)東京プリンスホテル「サンフラワーホール」に名誉総裁常陸宮妃子女殿下をお迎えした表彰式は、受賞者とご家族、審査員、ご来賓など多数が出席し、和やかな雰囲気で開催されました。入賞者は作品を朗読し、妃殿下から直接記念品を頂いて感激の面持ちで記念写真に納まり式典は無事に終了いたしました。

緊急災害時動物救援本部

4つの動物愛護団体(当協会)と日本獣医師会で構成されているこの本部では、6月に起きた岩手・宮城内陸地震被災動物へのフードの提供をいたしました。これからも、いつ起こるかわからない緊急災害被災動物救援活動への援助のために、スタンバイしております。

動物ID普及推進会議(AIPO)

今年度もマイクロチップによる個体識別の推進と普及状況の把握及び登録事業の管理を行いました。また、一般市民への普及推進活動の一環として啓発ポスターを作成し、配布しました。平成20年度の登録件数は、合計で86,287頭で昨年より約18,000頭増加しております。平成21年3月31日現在の累計登録頭数は犬176,677頭、猫38,599頭、その他2,099頭、合計217,375頭です。

Ⅱ広報・啓発活動

次回は記念すべき50回になりますが、応募校数を増やし、更に多くの若人が動物愛護に関心を高めてくれるよう新たな一步を進みたいと考えております。

多大なご協力を頂きました、環境省、毎日新聞社、日本ヒルズ・コルゲート㈱、社団法人昭和会館、榎松屋、学校法人ヤマザキ学園の皆様に心より御礼申し上げます。



記念撮影



名誉総裁常陸宮妃子女殿下より
記念品をいただく

○ 動物愛護週間中央行事

“いのち輝け人と動物の愛の輪で”のスローガンのもと、本年度は「まもれますか？ペットの健康と安全」をキーワードにして動物愛護フェスティバルが上野恩賜公園で開催されました。屋外行事は9月20日に、屋内行事は9月23日に実施され、当協会は例年同様屋外行事では子どもたちに動物折り紙

を教えるコーナーを担当しました。昨年の暑さを踏まえ、東京都獣医師会は方が一のために動物救護所を設置して対応いたしましたが、そもそも炎天の中、犬を連れ歩くこと自体が飼い主として動物の健康への配慮に欠ける行為であると言わざるを得ません。また、家庭で飼うにはふさわしくないような動物を見せびらかして連れ歩くという人まで現れたのには閉口いたしました。これは、私たちが何のためにこのフェスティバルを開催しているかがこの方たちに理解していただけていない証拠。如何に市民一人ひとりに動物の福祉を浸透させるかを中央行

事実行委員会の構成団体と共に考え、努力したいと思います。屋内行事のシンポジウム「まもれますか？ペットの健康と安全」では、麻布大学付属動物病院副院長 小方宗次先生の基調講演の後、水越美奈氏、植田明浩氏、麻林秀規氏、大島誠之助氏によるパネルディスカッションが行われました。



屋内行事シンポジウム

◇【動物愛護管理功労者 環境大臣表彰】

阪神支部中島紀史子氏が、動物の愛護の推進に関して長年にわたるご尽力と顕著な功績があったとして、環境省から表彰されました。

◇【自治体主催イベントに協会理事長賞】

動物愛護週間に三重県主催「動物愛護の絵・ポスター展」入賞者に協会理事長賞を贈りました。

○ JAWS レポート

平成20年度は年2回発行しました。平成20年8月に57号、12月に58号を会員各位へお届けしました。

○ 講演・研修・取材等

平成16年から3年間実施してきました英國RSPCA本部における「RSPCAショートトレーニングコース」の初の国内講座として、第1回RSPCA動物福祉短期研修会(平成21年2月17日～19日)を開催しました。自治体職員15名、動物愛護推進員9名、他4名の参加を得、RSPCA現役アニマルインスペクターと国際部の東アジア担当専門スタッフを迎えて、現場で働く方々への動物福祉の評価と実践に焦点を絞った人材教育に努力しました。

今年度も各方面からの講演や取材の依頼を受け、当協会は積極的にこれに応じました。年間講演回数は18回、取材は電話取材を除き25回でした。また、中学校・専門学校・大学12校からの研修を受け入れました。その他、資料や情報提供にも応じました。



第1回 RSPCA 動物福祉短期研修会

○ パネル展

事務局及び会員が、自治体や民間主催フェスティバル、学園祭で動物虐待防止の写真パネル展を行いました。

○ 電話等による相談

日本全国から寄せられる動物に関する様々な相談に応じました。

ご支援に感謝

■常陸宮妃華子殿下のご翻訳絵本

妃殿下がご翻訳された絵本は現在「ぼくじゃないよジェイクだよ」「せかいでいちばんおりこうないぬ」「89番めのネコ」「ハニーが盲導犬になるまで」「しょうぼう犬ドット」の5冊がございます。何れも大変好評で、当協会の募金活動では、お子様やお孫さんのためにまとめてお求めになる方が多く、品切れになってお叱りをいただくこともあるほどです。

妃殿下のご意向で、印税はこれまでと同様に、動物福祉のためにと当協会へご寄附いただいております。

■各種オリジナルグッズの販売 慈善ビンゴ会による募金

バザーなどでは、JAWSのロゴ入りTシャツ・ポロシャツの売れ行きが好調です。また、動物カレンダーは写真掲載のご希望も多く、個人需要は堅調です。慈善ビンゴ会は会場が変わりましたが、コミッティの皆様のご尽力のおかげで、僅かですが昨年以上の募金額となりました。本年度の募金収入は1,211万円と残念ながら昨年度を85万円ほど下回りましたが、厳しい経済情勢を考えると会員の皆様のご努力あればこそその結果と心から感謝申し上げる次第です。

III募金活動

■寄付金

当協会の活動趣旨にご賛同いただき本年度も多く団体、会員を含めた個人の皆様から御寄付を賜りました。

●寄付者ご芳名（敬称略）

| 単位：円 | |
|-----------------|------------|
| パッカーズファンテーション | 10,000,000 |
| 匿名希望 | 1,000,000 |
| 筒井 かおる | 1,000,000 |
| 財団法人 日本いけばな芸術協会 | 550,000 |
| 社団法人 昭和会館 | 530,000 |
| 土田 謙一（くまちゃん） | 300,000 |
| 日本ビルズコレクト株式会社 | 300,000 |
| 社団法人 常磐会 | 300,000 |
| 学習院桜友会 | 250,000 |
| 財団法人 草月会 | 150,000 |
| 大沢 ゆり子 | 150,000 |
| ニューフレンズ | 106,631 |
| 松田 早苗 | 102,900 |
| 鳩山 安子 | 93,000 |
| 松平 寿美枝 | 93,000 |
| グラマラス | 74,580 |
| 後藤 真琴 | 70,000 |
| 中尾 佳代子 | 60,000 |
| 石原 ます子 | 59,658 |
| 石原動物病院 | 52,209 |
| 千葉 紗子 | 51,040 |
| 森川 英子 | 50,000 |
| 国際ソロブチミスト東京 | 50,000 |

●定期的に御寄付を頂いている以下の方々に対し厚く御礼申し上げます。（敬称略で掲載）

島村貴三子 岸弘子 松岡栄子 岡本直士 津由利子 山本邦博 鶴田弘美 茶谷敏代 平野公子 青木解 藤田千代子
山田協子 山脇美恵子 吉田知世 下薙恵子 山下陽司 ヤマザキ学園 石井重則 スラップショット 宮川和子 中島峰子
中村栄子 福川宣史 小野美枝子 村田永子 豊嶋純子 佐野登 市川禮子 菅原豊 松田喜恵子 内田けいこ 安藤敦子
有日瀬ハウジング・松浦 森本直子 高橋光太郎 鈴木清美 山田道子 池田知子 山中隆一 ファイサー
青年経済人俱楽部 山本伯子 渡辺雅子 i.Charley 佐々木姫婆香 浅岡正子 國際ベットワールド専門学校 柏木良
山田明美 村上寿子 佐々木とも子 饗場洋子 豊田篤子 小野みどり 八千草薰 溝口健治 岡内久美子 山村はるこ
木村静江 塩見都世 大沢ゆり子 田所幸江 岸田洋美 L.Hansen 木村一子 工藤麻子 薬勉強会 DianaDiele
ナカウエマコト 志田英 標たくや 越智高子 市川晴美 古賀真希子 鹿森博子 藤田静 田村恵 安西浩子 匿名希望
天野由利子 三木修武 栗林幸江 劅部芳江 鈴木武 加藤笑子 水野明美

※ここに御芳名を掲載できなかった多数の皆様に対しましても心から感謝申し上げます。

新会員の募集

IV会員募集活動

20年度は新規会員が306名で退会者が202名でしたので104名増となりました。

残念なのは経済情勢の厳しさを反映して8社の法人会員が退会されたことです。

今後はホームページの全面改訂などで協会の活動を積極的にPRし、会員増を図っていきたいと考えておりますので、各支部におかれましても新規会員勧誘の推進に一層のご尽力をお願い申し上げます。

平成20年度末の会員数は下記の通りです。

- 名誉会員 3名 ●法人会員 30社 ●終身会員 162名
- 維持会員 304名 ●賛助会員 2244名 ●青少年会員 58名
- ◎合計 2801名

※ご住所を変更された方は、必ず事務局へご一報くださいまますようお願い申し上げます。

定時会員総会など

V事務局関係

■定時会員総会

平成21年6月6日（土）、平成20年度定時会員総会が「ゆうばうと五反田」（東京都品川区西五反田）において開催されました。

議題は、第1号議案「平成20年度事業報告」、第2号議案「平成20年度会計報告」、第3号議案「平成21年度事業計画（案）」、第4号議案「平成21年度予算書（案）」を上程し、すべて承認・可決され、午後3時00分に閉会しました。

■評議委員会

平成21年度評議委員会は、平成21年6月6日（土）午後1時15分から、「ゆうばうと五反田」において総会に先立ち開催されました。今回は評議委員会の存廃についての意見交換が主となり、今後のあり方については理事会で検討の上決定する事で合意され、午後1時50分に閉会しました。